

(議事1)

## 2025年への具体的対応方針について

① 公立・公的医療機関の具体的対応方針の再検証

# 公立病院経営強化プラン[豊後大野市民病院]について

## ◎病床等について

現在（令和4年度病床機能報告）							2025年						
病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	156	39			4	199		156	39			4	199
病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	
		84	72	39	195				84	72	39	195	
診療科目	科目名						診療科目	科目名					
	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、												

## ◎経営強化プラン内容(地域医療構想関連抜粋)

役割・機能の最適化と連携の強化

地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能

地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

機能分化・連携強化

- 豊肥地域の中核病院として、大分県や大分大学医学部等と連携して医師確保を行い、総合診療から専門医療を実践していく。
- 救急医療、災害医療、へき地医療、小児医療等の不採算部門を担い、非常時における医療サービスの確保にも努めていく。
- 今後、大分県が策定する第8次医療計画の内容を踏まえ、新興感染症等の感染拡大時においても地域のリーダー的な役割を担えるように対応できる体制を構築する。
- 医療におけるDX化を推進する(電子カルテシステムの導入、マイナンバーカードによる保険証確認の開始 AI問診やオンライン診療等の導入検討)。
- 第8期介護保険事業計画の「医療・介護連携の推進」について、行政をはじめ、他の医療機関や介護施設、訪問看護ステーションなどとの連携をより一層進めることで、包括的かつ継続的な在宅医療及び在宅介護を提供する体制づくりを進め、退院患者等が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援していく。
- 緊急時には、在宅や高齢者施設等からの入院要請に応じて後方支援の役割を担っていく。
- 地域の人材育成については、褥瘡・認知症・感染管理の認定看護師等が圏域内の医療機関や高齢者施設等に出向き学習会を開催する。
- 市主催の幼児精神発達精密健康診査や短期集中C型ケア会議への言語聴覚士、作業療法士の参加、豊後大野市在宅医療・介護連携推進協議会での多職種連携研修、市内各地域での医師や看護師等による出張健康教室、特定健診・保健指導等の保健予防等の活動にも取り組んでいく。
- コロナ禍にある現状においては、現行の新型コロナウイルス感染症への対応を含む診療体制や病棟体制の維持に努めていく。
- 将来の豊肥医療圏の人口動態や患者の流入の状況、他の医療機関等との連携体制の構築等を踏まえ、診療機能の見直しや病床数についても検討を進めていく。